

乳牛ニ附テハ父母ノ血統トモ記載シ置クヘシ  
各牛房見易キ場所ニ牛籍簿記載ノ番號(名稱アルトキ)ヲ記シタル木札又ハ紙片ヲ貼附  
シ置クヘシ

第十六條 畜牛ヲ増減シタルトキハ其ノ區別毛色年齢產地(名稱アルトキ)ヲ記載シ  
ノ増加ニ附テハ父母牛ノ血統及(名稱アルトモ)五日以内ニ縣廳ニ届出ツヘシ  
獸醫ノ乳牛及乳汁鑑定書ヲ添ヘ  
届出前ニ係ル乳牛ヨリ搾取シタル乳汁ヲ販賣スヘカラス

第十七條 乳牛分娩シタルトキハ其ノ日時牝牡ノ區別及毛色ヲ記載シ直ニ縣廳ニ届出ツ  
ヘシ

第十八條 乳牛病ニ罹リタルトキハ直ニ獸醫ヲシテ診斷セシメ診斷書ヲ添ヘ縣廳ニ届出  
ツヘシ其ノ全癒シタルトキ亦同シ

畜牛傳染病ニ罹リタルトキハ獸類傳染病豫防規則ニ從フヘシ

第三章 搾取販賣及製乳

第十九條 乳汁搾取ニ附テハ左ノ各項ニ從フヘシ

- 一 搾取人ハ其ノ肘關節以下ヲ淨水及石鹼ヲ以テ清洗シ清潔ナル白衣ヲ着テ不潔物ニ  
觸レサル様注意スヘシ
- 二 搾取ノ際ハ乳房並ニ其ノ周邊ヲ微温湯又ハ淨水ニテ洗滌シ乾燥ノ白布ヲ以テ之ヲ  
清拭スヘシ搾取ヲ終リタルトキ亦同シ

第二十條 乳汁ハ搾取ノ後清潔ナル綿布ノ類ヲ以テ濾過シ有蓋又ハ有栓ノ配達容器ニ移  
スヘシ

第二十一條 乳汁容器及製乳用ノ器具ハ鉛亞鉛銅黃銅其ノ他有害ノ物質ヲ用ウヘカラス  
乳汁容器ハ使用ノ都度熱湯ヲ以テ清洗スヘシ

第二十二條 傳染病患者ニ接シタル者並ニ皮膚病アル者ニハ乳汁ヲ取扱ハシメ又ハ配達  
ヲ爲サシムヘカラス

第二十三條 左ニ列記シタル乳汁ハ販賣スヘカラス

- 一 第十八條ノ病牛ヨリ搾取シタルモノ
- 二 強酸性ノ反應ヲ呈スルモノ
- 三 他ノ物質ヲ混和シタルモノ
- 四 分娩復一週間以上ヲ經過セサル乳牛ヨリ搾取シタルモノ
- 五 傳染病ニ罹リタルモノト同一ノ場所ニアリテ隔離後二週間以上ヲ經過セサル乳牛  
ヨリ搾取シタルモノ
- 六 傳染病ニ罹リ若クハ狂犬ノ咬傷ヲ受ケ全癒後四週間以上ヲ經過セサル乳牛ヨリ搾  
取シタルモノ
- 七 純乳ノ比重ハ攝氏十五度ニ於テクエン比重計ヲ用<sub>井</sub>一、〇二八乃至一、〇三四<sub>〇〇</sub>ニシテ  
脂肪含量ハマルチャンド氏檢乳汁ヲ用<sub>井</sub>〇、八立方センチメートル以上ノ依的兒



脂肪層ヲ析出セサルモノ

八 脫脂乳ノ比重ハ一、〇三三乃至一、〇三六ニシテ脂肪含量百分中〇、五分以上ヲ析出セサルモノ(廿九年縣令十五號ヲ以テ七項第八項中〇〇照更訂)

第二十四條 脫脂乳ハ其ノ容器ニ之ヲ表記シ純乳トシテ販賣スヘカラス

第二十五條 搾取販賣營業者ハ毎月十日マテニ前月分ノ搾取販賣高ヲ調表シ縣廳ニ届出ツヘシ

第四章 罰則

第二十六條 左ノ諸件ノ一ニ該當スルモノハ二日以上五日以下ノ拘留又ハ五拾錢以上壹圓五拾錢以下ノ科料ニ處ス

一 第二條第三條及第六條ノ願出ヲ爲サ、ル者

二 第四條第九條ノ命令ニ從ハサル者及第九條ノ検査ヲ拒ミタル者

三 第八條ノ木札ヲ顯帶センメサル者及第十二條ノ検査未済中使用シタル者

四 第十三條第十四條第十九條ノ所爲ニシテ警察官吏ノ注意又ハ督促ヲ受テ尙ホ肯セサル者

五 第五條第七條第十五條第十六條第十七條第十八條第二十條第二十一條第二十二條第二十三條第二十四條ニ違背シタル者

附 則

第二十七條 從前許可ヲ受テタル營業者ハ繼續營業スルコトヲ得其ノ搾取所ノ構造本則ニ適合セサルモノハ本年十一月一日ヨリ一箇年内ニ於テ改修スヘシ

○縣令第四十八號 二十八年十一月二十九日

本年(八月)本縣令第三十六號古物商取締法及同細則施行規則第五條及第四號書式改正(改訂) ○縣令第四十九號 欠

○縣令第五十號 二十八年十二月六日

荒地免租年期明及低價年期明ノ土地ニシテ明治二十三年(五月)岐阜縣令第三十六號地租ニ關スル願届書差出期限内ニ何等申告セサルモノハ總テ原地價ニ復シタルモノト見做シ該期限經過後直ニ土地臺帳ノ訂正ヲ爲スヘシ

○縣令第五十一號 二十八年十二月二十日

借馬營業取締規則左ノ通之ヲ定ム

借馬營業取締規則

第一條 借馬營業ヲ爲サムトスル者ハ左ノ各項ヲ具シ所轄警察官署ニ届出ツヘシ其ノ増減變更アリタルトキ亦同シ

- 一 馬匹ノ名稱、毛色及年齡
- 二 馬場ノ長程、幅員、厩舎又ハ馬繫場ノ略圖
- 三 借馬賃



四 馬丁ノ住所、氏名、年齢

第二條 馬場及廐舎、馬繫場ノ構造ハ左ノ各項ニ從フヘシ

一 直線馬場幅三間以上長四十間以上タルヘシ

二 圓形馬場ハ一周四十間ヲ下ルヘカラス

三 馬場ハ乘馬ノ逸出ヲ防クヘキ柵ヲ設クヘシ柵ハ末口四寸以上ノ縦木末口三寸以上

ノ横木ヲ用井縦木ハ六尺ヲ隔テ二尺以上地中ニ埋メ高五尺以上トシ必要ノ部分ニ

ハ外部ヨリ支柱ヲ設ク横木ハ地盤ヨリ每一尺五寸ヲ隔テ三段ニ結束シ馬場ノ出入

口ハ幅六尺トシ末口四寸以上ノ木材ヲ二段ニ横タヘ抜挿ニ便利ナラシムヘシ

四 廐舎及馬繫場ハ一頭一坪半以上ノ割合ヲ以テ設クヘシ

第三條 前條ノ構造ハ警察官ノ検査ヲ受クルニアラサレハ開業スルヲ得ス検査ノ上其ノ

構造制限ニ適當セサルトキ若クハ牢固ナラスト認メタルトキハ改造又ハ修補ヲ命スル

コトアルヘシ

第四條 馬丁ハ丁年以上ノ者ニアラサレハ使役スヘカラス

第五條 白痴、瘋癲、醉體ノ者并ニ十年未滿ノ小兒ニハ乘馬セジムヘカラス

第六條 市街其ノ他ニ乘廻シヲナス者アルトキハ馬丁ヲ附シ且ツ夜間ハ提灯ヲ携帶セシ

ムヘシ

第七條 病馬又ハ疲勞ノ爲乗用ニ堪ヘサル馬匹ヲ貸與スヘカラス

第八條 損所アル馬具ハ使用スヘカラス

第九條 廐舎、馬繫場及馬場ハ常ニ清潔ニ掃除シ糞尿ヲ溜置クヘカラス

第十條 本則及借馬賃ハ乗客ノ見易キ場所ニ揭示スヘシ

第十一條 第一條ノ届出ヲ爲サス第三條ノ命令ニ從ハヌ又ハ第八條ニ違背シタル者ハ二

日以上五日以下ノ拘留又ハ五拾錢以上壹圓以下ノ科料ニ處ス

○縣令第五十二號 二十八年十二月二十日

競馬取締規則左ノ通之ヲ定ム

競馬取締規則

第一條 競馬場ヲ設ケムトスル者ハ所轄警察官署ニ届出ヘツシ

變更廢止セムトスルトキ亦同シ

設置ノ届書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 設置ノ場所

二 馬場ノ長、幅及形狀

三 長場及馬繫場ノ略圖

第二條 競馬ヲ舉行セムトスル者ハ舉行二十四時間前ニ舉行ノ場所、月日及時間ヲ記載

シ所轄警察官署ニ届出ツヘシ

變更セムトスルトキハ即時届出ツヘシ



第三條

馬場及馬繫場ハ左ノ各項ニ依リ構造スヘシ

一 長形馬場ハ幅三間以上長六十間以上タルヘシ

二 圓形馬場ハ幅三間以上一周六十間以上タルヘシ

三 馬場ニハ末口四寸以上ノ縦木末口三寸以上ノ横木ヲ用井柵ヲ設クヘシ

縦木ハ六尺ヲ隔テ二尺以上地中ニ埋メ高五尺以上トシ必要ノ部分ニハ外部ヨリ支

柱ヲ設クヘシ

横木ハ地盤ヨリ每一尺五寸ヲ隔テ三段ニ結束スヘシ

出入口ハ幅六尺トシ末口四寸以上ノ木材ヲ二段ニ横タヘ拔挿ニ便利ナラシムヘシ

四 馬繫場ハ一頭一坪半以上ノ割合ヲ以テ構造シ成ルヘク馬場ノ附近ニ設クヘシ

第四條 馬場ノ側ニ棧敷ヲ設クルトキハ高六尺以上トシ堅牢ニ構造スヘシ

第五條 第三條、第四條ノ構造ハ警察官ノ検査ヲ受クルニアラサレハ競馬ヲ舉行スルヲ

得ス

構造不適當ト認メタルトキハ改造又ハ修補ヲ命スルコトアルヘシ

第六條 競馬舉行中警察官ニ於テ危險ト認ムル場合ハ其ノ舉行ヲ停止スルコトアルヘシ

第七條 第一條、第二條ノ届出ヲ爲サヌ又ハ第五條、第六條ノ命令ニ従ハサル者ハ二日以

上五日以下ノ拘留又ハ五拾錢以上壹圓五拾錢以下ノ科料ニ處ス

○縣令第五十三號 二十八年十二月二十日

本年(八月)岐阜縣令第三十七號質屋取締法及同細則施行規則第四條改正ス(改訂)  
○縣令第五十四號 二十八年十二月二十七日  
明治十三年(九月)本縣甲第六十三號布達廢止ス



明治三十年六月十五日印刷

明治三十年六月二十日發行

著作者兼  
發行人

香川縣高松市一番丁百番戶

梶原猪之松

岐阜縣岐阜市大字今泉泉町  
四百二十四番戶

印刷人 片山克武

岐阜縣岐阜市大字今泉泉町  
四百二十四番戶

印刷所 啓文社















